

## テーマ

# 目黒区民まつり子ども広場

「わくわく工作ランドとヤン☆ヤン駄菓子屋さん」

## 団体名

# 目黒区青少年委員会

## 目的

区民まつりは、区民にとり大きな行事となっており、友好都市・宮城県気仙沼市からの新鮮なさんま（5,000尾）を炭火で焼き、無料でお配りしており、毎年3万人を超える方が来場。会場は4会場で、そのうちの子ども広場（田道小学校）は子供たちが遊べる会場となっている。

地域のために活動したいと思う中学生、高校生を育てるとともに、幼児・小学生に中学生が関わることを目的として始めた。しかし実際は、「中高生を育てる」と言うより、「活動を通じて楽しさを共有して、嬉しさを共感し、楽しい仲間の輪は自然と広がって行くものだ」と実感した。

## 開催時期

平成25年9月15日（日） 毎年9月中旬の日曜日

## 会場

区民まつり子ども広場会場（目黒区立田道小学校）本年は台風接近による荒天のため、急遽、目黒区民センターに移動した。

## 参加者

240人・・・スタッフ：中学生20人、高校生5人、  
青少年委員15人 ブース来場者：約200人

## 内容

中高生と青少年委員が協力し、工作教室と駄菓子、パン、飲料の販売を行う。工作キット作りや看板制作、駄菓子の仕入れ等の準備から関わる。

## その他

当日、台風による豪雨の中、ずぶ濡れになりながら、8時半に全員が集合。活動中止の苦渋の決定を伝えると、皆うつむいて静まり返った。そんな中、誰彼ともなく、「やりたいです」、「中止は嫌だ」と訴えてきた。そこに「区民センターに移動して開店できる」と連絡が入り、皆の大歓声があがった。この瞬間、出会って間もない子どもたちが、一つの塊になったように感じ、居合わせた青少年委員は温かい気持ちに包まれた。活動全体を通じ、全員が本当に楽しそうに接客をし、その笑顔を見られたことは、青少年委員の特典であると思う。

## 中高生参加状況

- ・ スタッフ顔合わせ、自己紹介、区民まっりの概要説明、青少年委員会ブースの目的確認、販売物品の学習、工作キット作り、看板制作、駄菓子の仕入れ等の準備
- ・ 当日の工作教室の指導、物品販売  
雨雲が去り、朝とは打って変わった天気のもと、子どもたちの元気な呼び込みの声は区民まつり全体の活気をもたらしていた。

## 中高生参加を促すポイントや工夫

- ・ 区内中学校にA3判ポスター2枚を配布し、掲示の依頼。
- ・ 中学校PTA連合会にて、PTA会長・校長に趣旨説明。
- ・ 青少年委員が知人に個別勧誘。
- ・ 昨年度の経験者がそれぞれ友人を誘い、今年も参加。
- ・ 中高生の楽しそうに活動する姿を昨年度に見て、今年度初めて参加した生徒がいた。

事例資料 写真、印刷物等



中高生スタッフが頑張ってくれて駄菓子屋さん完売御礼です。

中高生スタッフ  
全員集合！



青少年委員の説明  
を真剣に聞いている  
中高生たち